



【第107,108,109回 空港見学会を実施しました】

振興協会では、成田空港と空港周辺地域社会との調和促進事業の一環として、成田空港への理解を深め、関心を持っていただくことを目的として空港周辺の社会福祉施設および小学校特別支援学級の方々をお招きし、空港見学会を実施しています。

6月は、3団体61名の皆さんをご招待し、第1旅客ターミナルビル南ウイング4階(出発フロア)や展望デッキを見学した後、航空科学博物館へご案内致しました。

出発フロアでは空港の雰囲気を感じてもらい、展望デッキでは飛行機の速さや大きさなどを真近に見て実感していただきました。また、中央ビルのレストランやショップが立ち並ぶエアポートモールの中を散策しながら、FMスタジオや馴染みのあるキャラクターショップやファーストフード店を見つけて驚く様子も見られました。

航空科学博物館では、展示物の見学やフライトシミュレーターの体験をしていただきました。紙ひこうきの制作体験では、学芸員の方による説明を聞きながら熱心に紙ひこうきを折っていました。出来上がった紙ひこうきはみんなで飛ばし合い、楽しい時を過ごしていただきました。

これからも空港振興協会は、空港見学会等の事業を通して、成田空港をより身近に感じ、親しんでもらえるよう取り組んで参ります。

河内町障がい者支援センターひかり(6月13日実施、11名)



第1旅客ターミナルビル 展望デッキにて

稲敷市立江戸崎小学校(6月19日実施、30名)



航空科学博物館正面玄関前にて

NPO法人 グループ彩 生活工房(6月21日実施、20名)



第1旅客ターミナルビル 出発フロアにて



第1旅客ターミナルビル見学



フライトシミュレーター



紙ひこうき制作体験